



西宮市をもっと元気に かみたに ゆみ

西宮市議会議員 かみたに ゆみ 上谷 幸美 プロフィール

1973年生まれ。山口小学校、山口中学校卒 川崎医科大学附属高校、川崎医科大学1998年卒 医師免許取得、現在、高田上谷病院副理事長 平成28年4月より、上谷学園 幸幼稚園 理事長就任 前西宮市議会議員上谷幸彦の思いを継承し平成27年4月、市議会議員選挙で初当選 日本舞踊 音羽流 名取 音羽菊美弥幸

市政報告書 2016年3月発行

■ 発行者：上谷幸美
■ 連絡先：かみたにゆみ事務所
〒652-1421 西宮市山口町上山口4丁目5-12
TEL:078-904-1356
kamitaniyumi@gmail.com
http://www.kamitani-yumi.com

ごあいさつ

みなさま、こんにちは。

少し暖かくなり、私のまわりでは梅の花も満開です。

私にとって記念すべき、『市政レポート第一号』が

皆様のお手元に届く頃にはきっと桜も見ごろとなっていることでしょう。

あと少しで、市議会議員に当選させていただいてから約1年になります。いただいた付託にお応えできるよう、日々猛勉強中の身ではありますが、ここまでやって参りました活動を、おもに質問内容のご紹介を通してお知らせさせていただきます。皆様のお暮らしに、少しでもお役に立つことができれば幸いです。

これからも新人議員としての目線、母親としての目線、医療従事者としての目線から、皆様に今の西宮市政について、少しずつではありますが、お伝えして参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

西宮市議会議員 上谷 幸美(かみたに ゆみ)



ご存知
ですか?

せま~い道路を広げるはなし・・・

市の事業で『狭隘(きょうあい)道路拡張整備事業』という制度があります。

狭隘(きょうあい)とは要するに「せまいっ!」ということで、狭隘道路とは、建築基準法が施行された昭和25年の時点ですでに道として使用され、その道に沿って家が立ち並ぶ、幅員1.8メートル以上4メートル未満の道路を言います。このような、狭隘道路に面した土地にお住まいの方が住宅を新築、または増改築される場合、あるいは門や塀などを撤去する場合、それを機に自宅前の道路を広げたいとお考えであれば、道路の中心線から2メートルが確保されるよう、境界線を後退させ、その後退用地を、寄付又は無償契約していただければ市が道路の拡張整備を行うという制度です。

自分の土地を道路のために寄付するって何か損なようですが、道路が広がることで土地の価値も上がりますし、救急車や消防車の往来や到着にも影響しますので、建て替えその他、機会があるときにはぜひご検討ください。この制度をもっと広く、詳しく知って頂き活用して頂ければと、思います。

きょうあい
狭隘道路
拡張整備事業
とは

家の前が
狭隘道路
のお家

道路の幅が
狭くて危険

増改築時など
道路拡張分を
市に寄付
又は無償契約

市が道路の拡張整備
をします!

- 土地の地価UP
- 緊急車両が
通れて安全

いざという
とき安心



昨年6月に議員となってから9月、3月の議会で2回の一般質問をさせていただきました。

そして、この平成27年9月議会に私が提案しました事が、なんと!この2月より実際に動き出すこととなりました!

それは、市内南北の交通網において、豪雨などによる通行止め時の迂回路情報案内の発信についてです。これは、私が実際に豪雨の際、議会に出席しており、帰宅困難者となった実体験から提案しました。

トンネルや道路は、それぞれ雨量規定が決まっており、その一定の基準に達すると、突然通行止めになってしまうのです。

このような情報は通常、防災ネットに表示されますので読者の方の中にも、『えー!通行止めやん!』と、おどろかれた方もおられるでしょう。

確かに情報は開示されますが、市内南部から北部に帰りたいたい時など、さてどうやったら家に帰れるの?というルートまで示してくれるわけではありません。あせて検索したり、問い合わせ

せたりするのですが、これが本当に大変なことなのです。私は、防災ネット情報を改良し、通行止め、だけではなくそれでも南北に移動したい場合の迂回路情報を、市域を超えて(つまり神戸市なども情報も加味して)広報するべきだ、と訴えたのですが、その後の調整により、今年の二月からこれが実施されることになったのです!

新人でも頑張れば役に立てる!豪雨などの災害時、もし、通行止めになり、帰宅困難となった方にこの情報が役立つ事があれば嬉しいです。

雨量基準によって通行止めになるというのも、重要な情報です、お忘れなく。

にしのみや防災ネット

PC・スマートフォン・携帯から確認、緊急情報メールの登録ができます。

にしのみや防災ネット

検索



●2月からの変更点

通行止め情報

+

迂回路情報

情報が追加されます。

その他にした質問(要点の抜粋)

Q 質問 豪雨など通行止めや道路が冠水することを想定した、**救急搬送の対応策**はされているか。

市の答弁 災害時、消防自動車ですら巡視し、災害情報を把握し、また他市や他府県の情報も把握し、搬送可能な病院の情報収集に努めている。

私の意見

京都府福知山市で、豪雨による、道路冠水によって災害拠点病院へ長時間救急車が入れなくなる事態が発生した事例があることから、救急搬送など生死を分けるような場合を想定し、1分1秒でも早く確かな病院に搬送するための仕組み作りに努めていただき、それを広報し、また北部地域の不安解消にも貢献して頂きたい。

Q 質問 **バリアフリーの案内**を、障害のある方、ご高齢の方、介助する方などが、利用しやすいように、バリアフリーマップとして掲載したり、各施設へリンクするなどの**使える情報公開**に変えていくべき。

また、役所内に担当部署を設置し、民間施設まで含めたバリアフリー情報を一元化して公表すべきと考えるが。

市の答弁 一部の施設のマップ化や各施設ホームページへのリンク対応による情報の公表について検討していく。部署については、設置できていない。今後は、民間施設も含めできないか、先進市の事例を参考に検討していく。

私の意見

車椅子生活などの歩行障害のある方やご高齢の方、介助する側の方にとって、どの道がバリアフリーなのか、どこに多目的トイレがあるのか、エレベーターはどこに設置されているのか、どこに障害者用の駐車スペースがあるのかなどの情報は重要であり、その位置が把握できないと外出することへの負担は増えます。できるだけ多くの施設にマップ化をまた、各公共施設のバリアフリー情報の掲載についても早急に進めていただくことを要望いたします。

Q 質問 **西宮市立中央病院の今年度の設備投資**、特に血管造影検査について。市内に同検査、治療をしている病院が複数あり、また救急は輪番日のみであることより公立病院としてのあり方を踏まえて質問しました。

市の答弁 近い将来において循環器系疾患の患者は増加すると予測していること、内科系外科系を含め複数の疾病に対応する病院として、一般的に対応できるよう診療体制の強化を掲げ取り組んでいる。

私の意見

28年度予算案より、一般会計からの繰入金、要は、市民の税金が12億、企業債が15億、過去の分を合わせると24億とある中、公立病院のあり方として、今回の投資とそのリターンについては必ず、年度ごとに取り出して、わかりやすく開示してください。